

令和元年度 ふるさと館事業計画

1 ふるさと学習の推進

1) 学校教科にあわせた学習支援

学校の学習単元にあわせて館内資料を使いながら、体験とともに学習を深められるメニューを用意する。

例：昔の暮らし体験（体験メニュー：石臼、洗濯板、唐箕、火起こし、勾玉作り など）

- 市内・市外 小・中・高校による見学・体験の受け入れ、総合学習など学習、研究の支援
- 民宿等（セカンドスクールなど）による見学・体験の受け入れ
- 出張講座 市内小学校クラブ活動への出張、関連授業への出張講座（昔の道具、考古など）
- マンスリースクール 月に一回程度、市内小学生を対象に体験講座を行う。

2) 伝統文化の保存・活用

○地域の年間行事、歴史など伝統文化を学ぶための体験教室・講座

6月「笹もち作り」 12月「しめ縄作り」 1月「まゆ玉作り」 2月「やしょうま作り」

2 企画・イベントの開催予定

1) 企画展

①企画展「飯山の手仕事展」(4月中頃～6月中頃)

ふるさと館市民学芸員又は友の会の年配者から聞き取りを行い、農作業の合間に古くから行われてきた「手仕事」・「ものづくり」を紹介。＊「わらぐつ作り講習会」5月、6月、7月に計3回行う

②企画展「善光寺地震」(6月末頃～9月初め)

170年程前に北信濃で発生した「善光寺地震」とよばれる大地震では、飯山とその周辺も大きな被害を受けた。今に伝わる資料から地震直後・その後の復興について紹介。

③企画展「飯山の祭り」(9月中頃～11月末頃)

市内各村で行われる秋祭りを、地域によるさまざまな特徴や違いを紹介する。

④企画展「収蔵文化財展」(12月初め～1月末頃)

ふるさと館に収蔵している文化財資料を紹介する。

⑤企画展「城下町ひな街道 ひな人形展」(2月～3月)

商店街と連携し、城下町飯山のひな人形展を開催。例年の展示に加え、飾り人形のもつ物語や歴史に焦点をあて紹介したい。

2) 学びのエリア「秋まつり」の開催(10月5日・6日)

市の社会教育・生涯学習の拠点である学びのエリアのなかで、ふるさと館の資料や友の会・市民学芸員などの特技を活かしテーマを設けたイベントを行うことで、より多くの来館者に地域の歴史や文化を紹介する。

3 情報発信

企画展や学習会、体験教室などの情報を随時HP・市報などに掲載し、新鮮な話題・情報を提供する。

4 ふるさと館友の会関係

- ・友の会先進地視察(年2回) ・会誌「奥信濃文化」の発刊(年2回) ・友の会各部会、総会の開催
- ・友の会だよりの発行

5 その他

- 1) 寄贈資料の受け入れ、整理、保管
- 2) 中学校・高校・教職員研修等の職場体験実習の受け入れなど